

さくら咲く！ 応用化学科で3か国交流プログラムを行いました！

大阪工業大学（OIT）が海外協定校を中心として様々なレベルでの国際交流を活発に実施していることは、「おーか・なう No.8」をはじめ、これまでも何度かご紹介してきました。

(<http://www.oit.ac.jp/japanese/international/index.html>)

応用化学科では、**科学技術振興機構（JST）「さくらサイエンスプラン」**の支援を受け、さる1月15日から24日までの10日間、台湾の台湾科技大学化学工程系大学院生3名・教員1名、ならびに、中国の華東理工大学化学・分子工程学院大学院生3名を本学にお招きして、さまざまな交流を行いました。

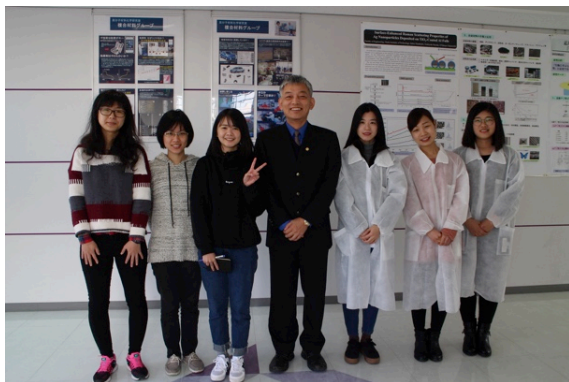


まず、台湾科技大学大学院生は 村岡雅弘教授 の「超分子研究室」に、華東理工大学大学院生は 東本慎也准教授 の「無機光化学研究室」に入り、それぞれの研究室の日本人学生とともに「**日中台共同研究による再生可能エネルギーの創出**」というテーマで研究実習に取組みました。

台湾科技大学から 劉 志成工学院院長 も同行され、西村泰志学長 をはじめ工大関係者を表敬訪問され、今後の交流について意見交換されました。（[「クローズアップ 大阪工大」掲載サイトをご覧ください](#)）さらに、劉先生には応用化学科で最近の研究成果について講演いただき、多くの学生が聴講しました。

本学での研究の合間には、学外研修・施設見学として、大阪府立大学と大阪市立工業研究所を訪問しました。大阪府立大学 21世紀科学研究機構ナノ科学・材料研究センターの 亀川 孝先生 からは、光触媒に関する研究成果についてお話いただき、同センターのさまざまな分析機器類を見学し、最新のエネルギー創出技術に触れました。また、大阪市立工業研究所では、同所の施設見学と顕微鏡測定やナノファイバー作製などを行いました。

(No.17-2 につづく)



劉 志成先生と台湾・中国からの参加大学院生



工大正門前で記念写真



大阪府立大学・亀川先生を訪問



宿泊先は学園宿泊施設「国際会館」